

新しい発見が人と地域をつなぐ

灯台もと暮らし

大作戦!

“魅力のある企業”は地元にある!

リーダー

三苦 里奈 (大分市)

副リーダー

中野 憲汰 (別府市)

メンバー

赤嶺 哲平 (豊後大野市)	白石 翔 (竹田市)
川野 貴志 (津久見市)	姫野 啓太郎 (臼杵市)
後藤 悠太 (由布市)	中洲 夏海 (日出町)



県内就職の現状と課題

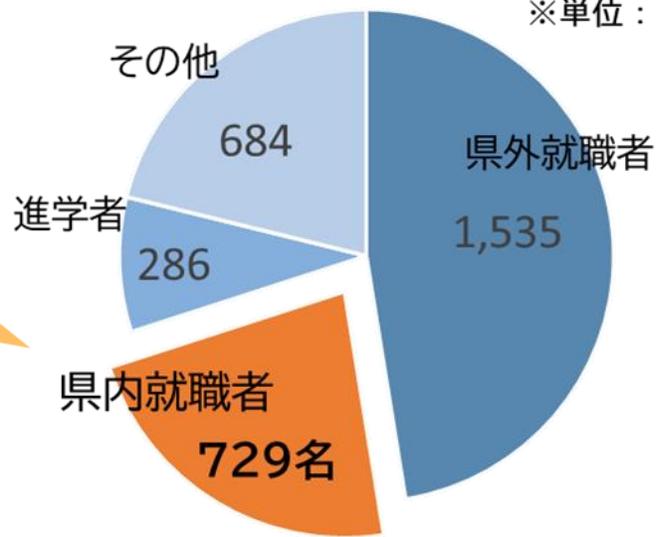
人口流出

県内年齢別比率において、全年代の中で流出率が最も高いのは、若年層(20~24歳)である。

- ※ 大分県内における人口流出の年齢別比率
- ※ 参考:大分県人口推計【第15表 市町村の年齢(5歳)階級別 転入・転出者】

図1 学校種別進路状況 (大学)

※単位:人



3人に1人



※R3大分県新規学卒者実態調査報告書より

就職率

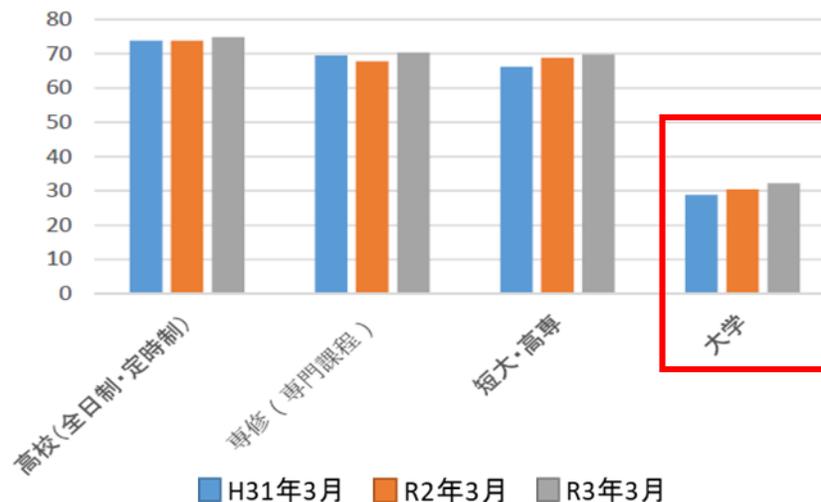
高校・専修・短大・高専卒業後の大分県内就職率は、70%前後を維持。

ちなみに…
宮崎県38.8%
鹿児島県50.2%



県内大学卒業後の県内就職率は、32.2%
(R3年3月時点)

図2 学校種別県内就職率の推移(単位:%)



※R3大分県新規学卒者実態調査報告書より

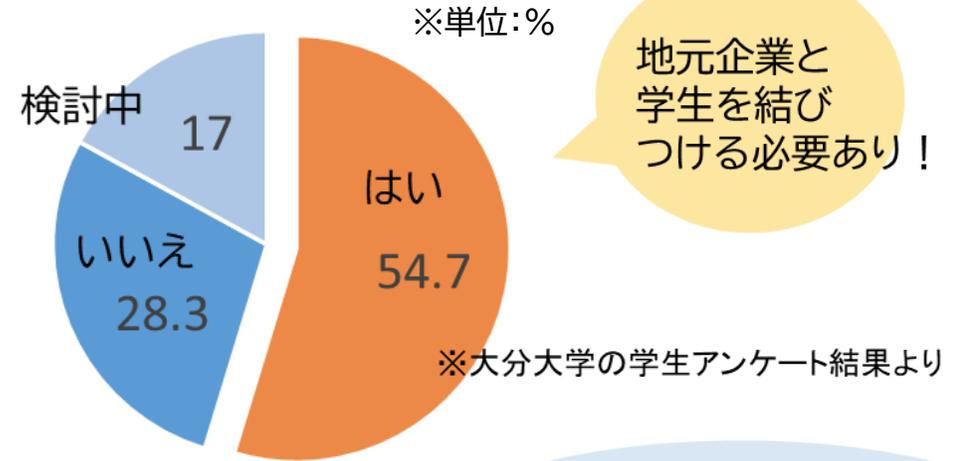
1 **約6割**の学生が地元就職を希望。
 ※就職活動サイト(マイナビ)及び
 大分大学の学生アンケート結果(回答者数82名)より

2 他の学校種別に比べ、大学卒生の
県内就職率が低い

3 **学生が求めている**
 企業情報が少ない。

「地元の企業を知らない」

図3 県内企業へ就職したい？



地元企業と
 学生を結び
 つける必要あり！

「企業説明会では意見を交換する機会が少ない」

「就職活動サイトでは情報が少なく、
 インターンシップでしか企業の
 特性がつかめない」



目指すべき圏域の将来像・効果

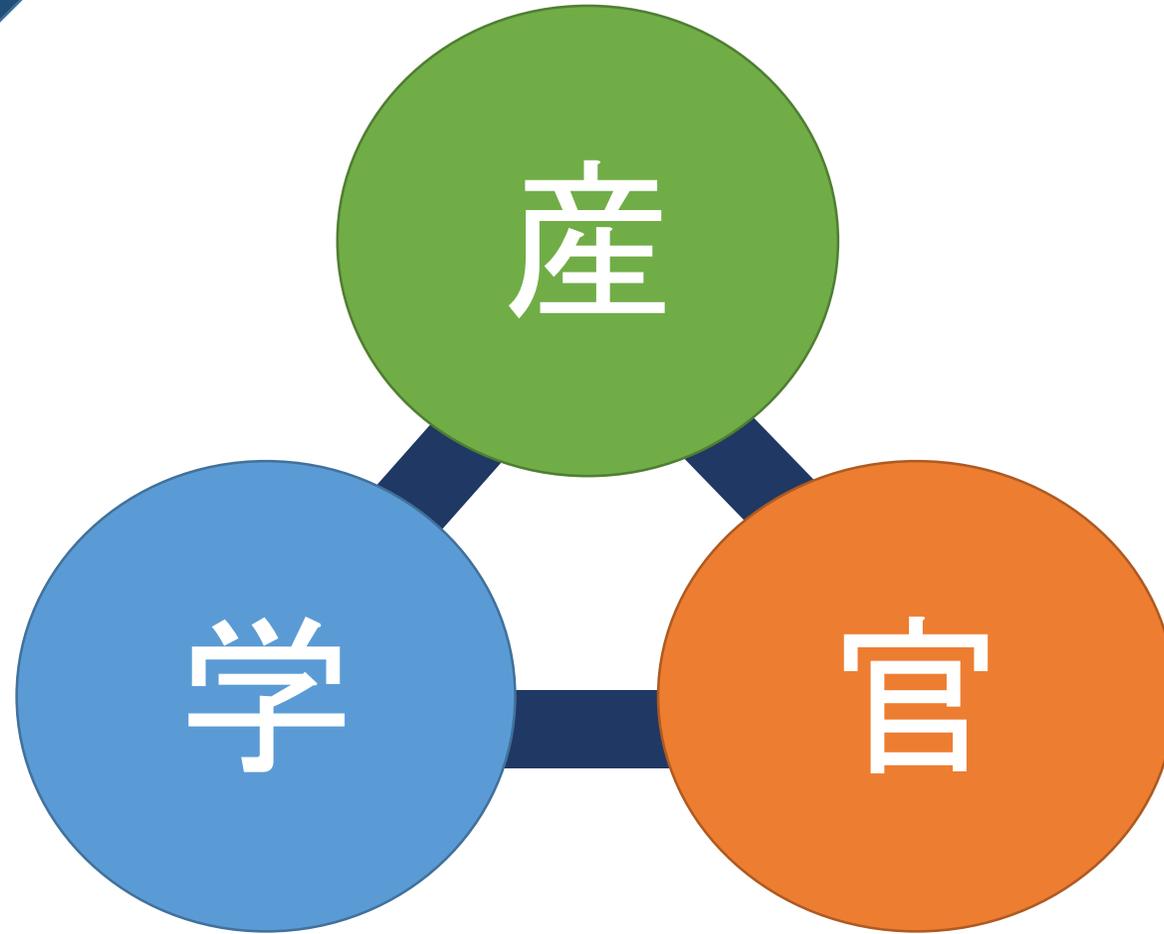
将来像

- 学校種別県内就職率(大学)を **40%** へ到達
- 学生と企業の新たなつながりの場を創出

副次的効果

- 圏域内企業の活性化
- 中小企業の後継者及び人材不足の解消
- 行政職員の資質向上
- 圏域内企業のPR

提案1



タスクフォース塾

産学官タスクフォース塾とは？

大分都市広域圏内の

『行政職員・大学生・中小企業参加者』で
チームをつくり、企業が抱える様々な
課題について調査・研究を行い、
事業提案を行う。



大学生

- 行政と企業との交流により社会を知る！
- ・ビジネススキル向上を達成
- ・「“ビジネス”とは何か？」を体験

中小企業

- 自社PRにつながる！（人材確保）
- ・他者視点で新たな事業展開を検討
- ・参加者のスキル向上

自治体

- 経営的思考の獲得！
- ・他市町や企業とのネットワークを構築

中小企業と学生の交流について

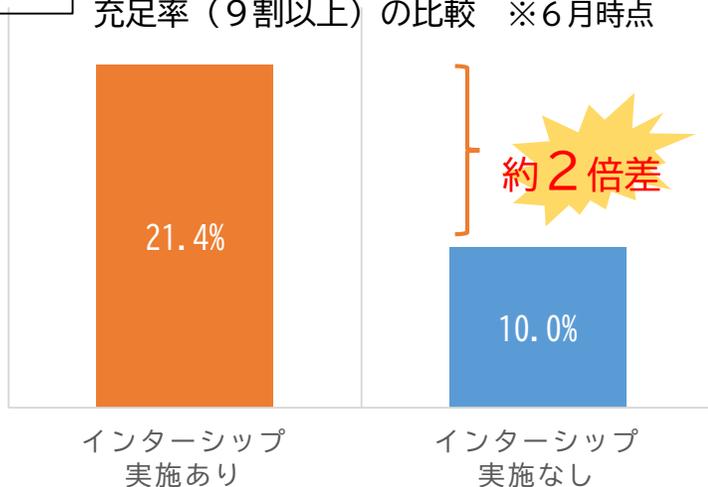
01 中小企業の人材不足が深刻

- インターンシップの実施有無の採用予定充足率を比較

実施あり > 実施なし

- 規模が小さい中小企業の実施は少ないため、企業と学生との交流の場がない！

図4 インターンシップ実施有無別採用予定充足率（9割以上）の比較 ※6月時点



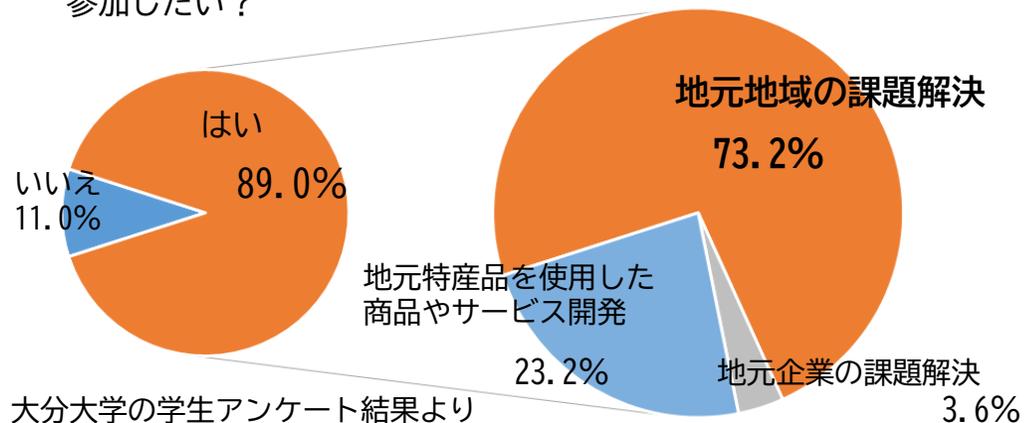
就職者が減少!
人材不足に...



02 大学生はスキルアップを求めている！

図5 Q1 タスクフォース塾に参加したい？

Q2 どんな課題に取り組みたい？



「発案力、コミュニケーション能力を向上して、就職後に活かしたい！」



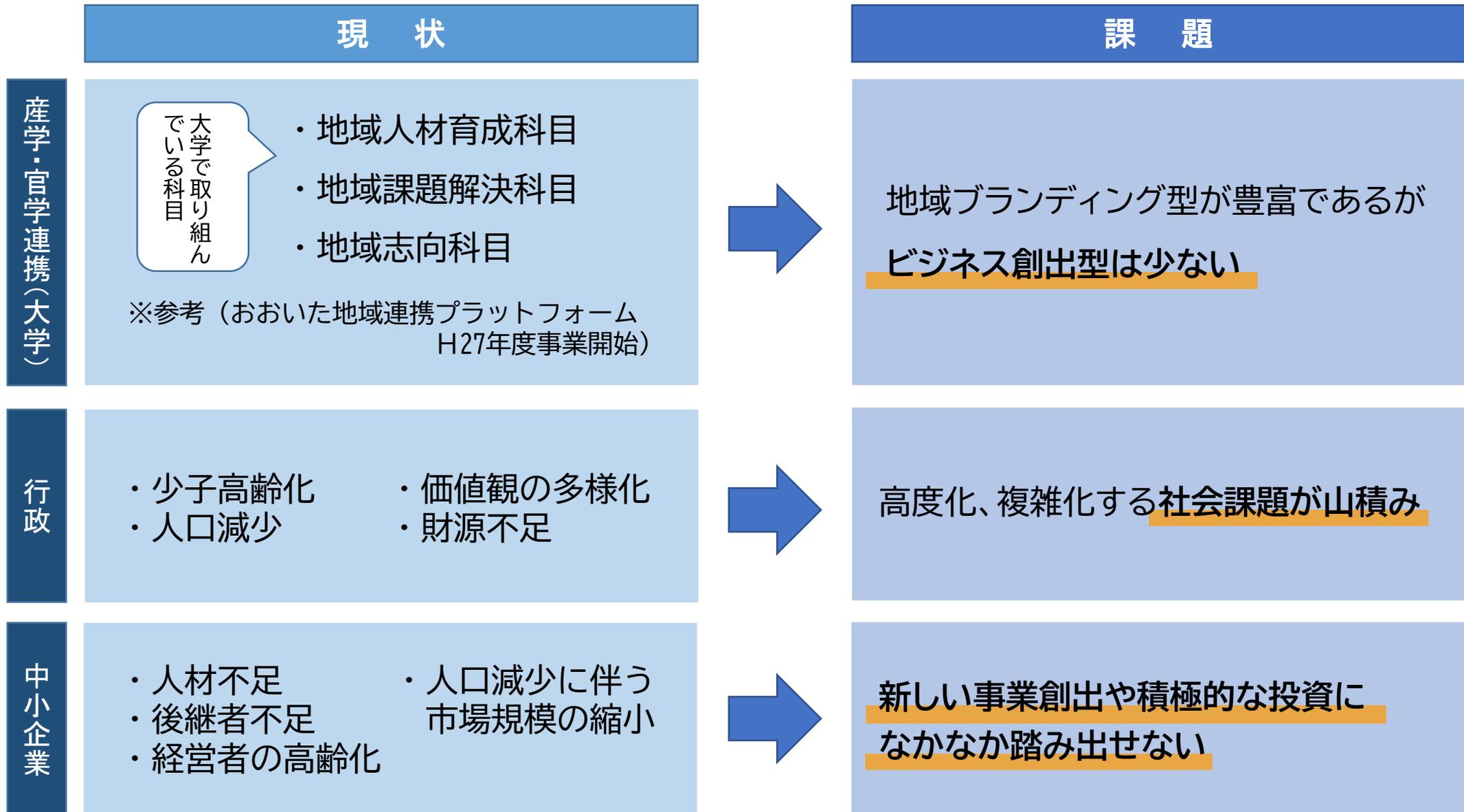
「説明会ではなく、社員とたくさん話したい」
「自分が考える地元課題にどう取り組むのか聞きたい」



中小企業  大学生 の交流の場が必要！



03 現在の状況は？



事業実施に向けた具体的な取り組み

募集

(R5年1～3月)

開校

(R5年4月)

実施

(R5年4月～R5年10月)

提案

(R5年11月)

大学生



4名

※大学2～3年生

中小企業



4名

※45歳以下の若手経営者
及び後継者

自治体



8名

※7市1町1名ずつ

産学官連携の
新たなスタイルの
実証

2班構成

参加中小企業の課題検討
→
事業提案へ向けて！

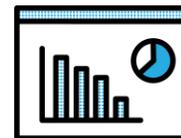
企業は新たな事業
を創出可能となる
ため課題提供したい

調査研究

- ①班で定めた課題の現状分析、
調査するための情報収集
- ②結果から考えられる仮説組立

効果検証

仮説を立証するために、
施策実行⇒分析⇒実行⇒分析…
を繰り返し検証する



事業立案から実証及び
効果検証まで実施し、
より実務に近い連携を構築

最終報告会

参加企業代表
者、市町首長が
集まる場にて
事業提案

プロジェクト
完了認定証発行

- ・地元中小企業と首長の
交流の場として機能
- ・公が発行した認定証を
就職活動等で有効活用

取り組みの効果

- ・新たな収益源の獲得
- ・自社組織の活性化
- ・大学生へ自社の認知度向上



中小企業

- ・ビジネスとの接点拡充
- ・就職先候補企業の増加
- ・実践知の獲得による学業の拡充

大学生



- ・政策立案能力向上
- ・行政課題への解決施策の増加
- ・参加企業とのネットワーク構築

自治体



K
P
I

設定値

参加企業の新規事業創出数 … 2

設定理由

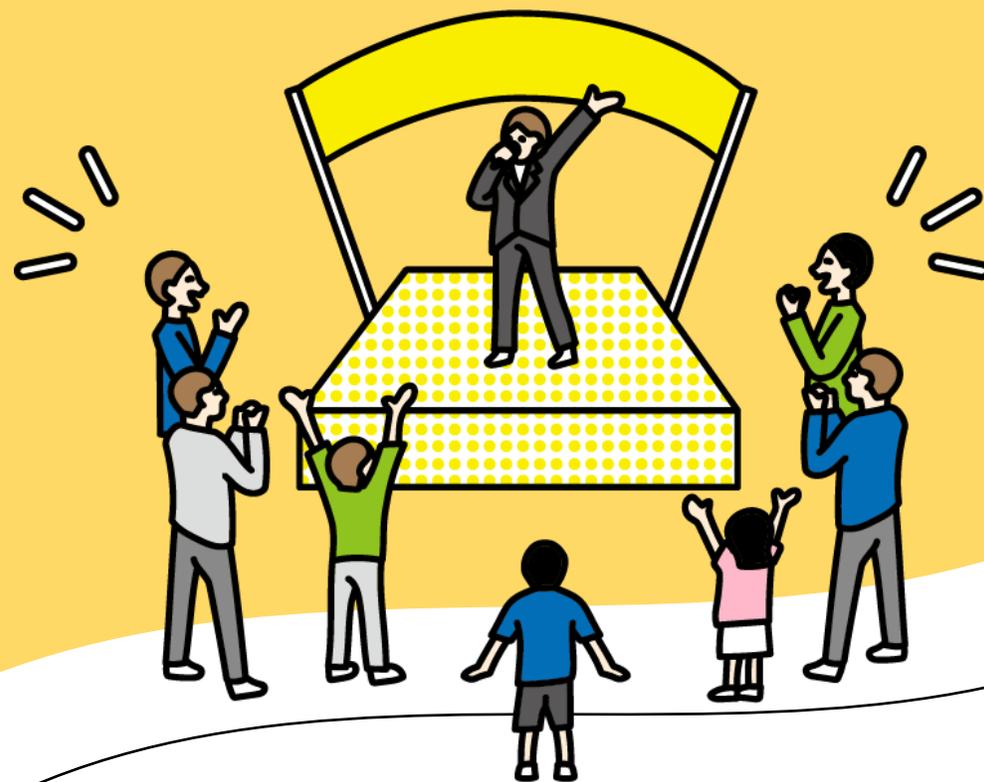
大学生にとって感動・成功体験になり、
中小企業の新たな魅力創出につながる。

就職先候補
の
選定基準



出合いが導く
企業マツチング
フェス

～あなたの町で、企業とマツチ～



提案

1 大学生と企業が
密に交流できる場を提供

2 圏域内の8市町を
開催地としたイベント

3 地元企業のPR

＼インターンシップよりも効率的な／

企業×学生の
マッチングフェスを企画！



大分が大好き！

地元就職して
貢献したい！

…そんな意欲のある
大学生たちのサポートを！



大学生のニーズ

就活イベント

- 開催地はいつも大分市
- 企業と意見交換する機会が少ない
- 地元企業の話を知りたい

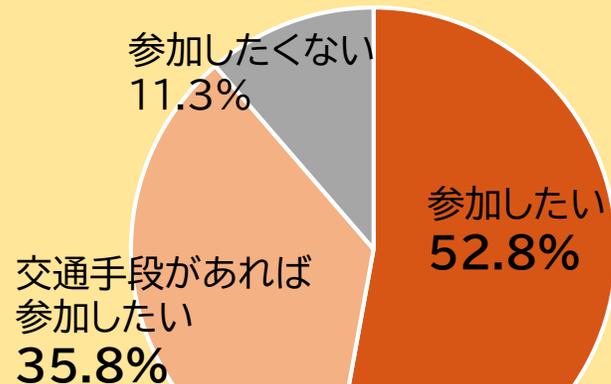
就活情報サイト

- 地元企業の情報が少ない
- 企業概要が一部しか掲載されていない

R3県内企業
合同説明会は
合計11回開催



学生と企業の マッチング説明会に参加したい？



※大分大学の学生アンケート結果より

どんな内容なら参加したい？

- 就活ではなく、社会人の本音を聞くことができる場がほしい！
- キャンプや食事会などの開催
- カジュアルに会話できるもの

『ホンネ』
が知りたい！

企業マッチングフェスでできること

飲食店ブース

地元の飲食店の出店ブースを設置！

地域をPRします！

企業ブース

- ①開催地企業+大手企業の出展
- ②企業が制作した製品体験の実施
- ③企画「企業のトップに聞いてみた！」

社長インタビュー

フリースペース

参加した学生同士の情報交換スペースを設置！

学生同士の交流の場

飲食OK

ステージイベント

本音トークイベント

社員さんに聞く！
「ほんとのホンネ」

- ①当日、学生から企業への質問を募集
- ②リアルタイムで回答

ナンバーワン企業投票

#まちフェス
リクエストアワード

- ①自社名を伏せて学生へプレゼン
- ②学生はプレゼンから一番良かった企業へ投票
- ③投票結果の開示+企業名オープン

うちのいいところ！

ステージ

企業ブース

企業ブース

飲食店
ブース

ステージ
観覧席

イートイン
+
フリースペース

企業ブース

企業ブース

飲食店
ブース

#まちフェスのステップ

通称
#まちフェス

Step 1

参加してみよう！



1. 「大分都市広域圏」のHPへアクセスしよう！
2. イベント情報から「#まちフェス」をタップ！
3. 申し込みフォームに入力して完了！

Step 3

企業×学生トークで自由に発言してみよう！

いろいろな地元の企業が
集まった会場で、
企業とトークできるよ！

本音をガンガン聞こう！



／ 教えてー！ ／

Step 2

イベントに行ってみよう！

本音トークイベントや
企業製品の体験コーナー
など、様々な企画を
ご用意！

参加無料

もちろん、私服OK！

スーツ×



Step 4

#まちフェスのあとは？



- ・ Instagram
- ・ Twitter
- ・ チラシ



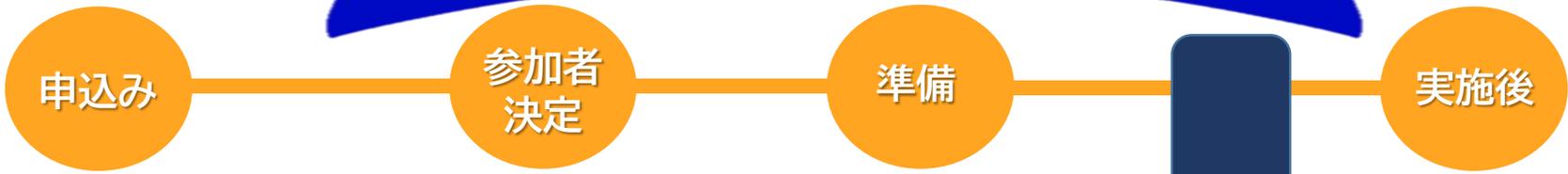
SNSで次のイベントを
お知らせするよ！

#まちフェス



開催までのスケジュール

年4回開催



大学生

県内大学1～3年生

大学生 ●名
参加企業●社



企業

・開催地企業
・大手企業
・開催地自治体

開催地に本社支社がある企業

会場設営

フェスに必要な資料や装飾品の準備

#まちフェス開催

気になる企業へ
↑ ↓
大学生へアプローチ

事務局



・開催地域の決定
・フェア内容協議

フェア用の募集ページの作成
→HPオープン

企業へ照会
↓
必要設備の発注

参加者には当日の詳細等案内を通知

実施後

・SNSで次回告知
・学生+企業へアンケート実施



取り組みの効果と課題

- ・ 自社PRができ、話題性につながる
- ・ 圏域内の企業との関わり
- ・ 就職率向上による人材不足解消



中小企業

- ・ 開催地企業の情報収集が可能
- ・ 就職活動時の選択肢の拡大
- ・ 他の学生との交流



大学生

- ・ 地元地域の活性化
- ・ 圏域内企業PR
- ・ 就職率向上による人材不足解消



自治体

K
P
I

設定値

開催地企業への就職者率

設定理由

圏域内企業の就職率向上

今後の課題

- ・ 開催地までの交通手段の検討
- ・ 自治体主催の場合、参加企業に偏りが生じない仕組みが必要

Joy+Join

“En”joy n

人と人の繋がり

縁

経済を回す

円